

広島 工大 同窓会会報

第 23 号

広島工業大学同窓会
佐伯区三宅二丁目
発行所
永見憲吾



今年度の活動方針について

同窓会々長 永見憲吾

同窓生の皆さん、お元気でしょうか。

去る4月16日の同窓会総会には多数の皆さん方の参加を得まして、母校の先生方とも楽しい語らいのひとつきをもつことが出来ました。このたびの総会には一言メッセージの案内文を同封したのですが、今迄にない反応と共に、多くの同窓生の参加という嬉しい結果となりました。以前より、皆さん方から魅力ある同窓会、魅力ある総会など種々の要望がアンケート調査を通じて寄せられておりますが、私たち役員も暗中模索をし乍ら確実に一つ一つを改善すべく努力している次第であります。

平成元年度、同窓会活動役割分担も8つに区分し、それぞれの役員の方々考えていただいております。その8つとは、1. 組織の充実 2. 財産管理（法人化問題について）3. 総会、懇親会の魅力付け、及び実行、4. 同窓会活動の整備（同窓会歴、慶弔関係、大学院生に対する奨学金等）5. 名簿の充実 6. 支部について 7. 会報 8. 会誌 以上であります。

会計監査報告もこの24年間で初めて会計処理のあり方について提言がなされ、これ迄見過ごされていた会計処理のよりキメの細かい訂正案もいただき、会計処理の方向性も見えてきたように思います。学内に残った同窓生で組織されている幹事会も、今年度のモットーとして「少ない・短い・爽り多い会議」を掲げ、充実した会議

にしたいと意気込んでおられます。

来年度総会・懇親会については、平成2年4月22日とし、より一層魅力ある総会を検討すると共に、これまで念願でありました年度幹事制も新しく導入し、何年かおきかの年度幹事によって同窓会総会に参加を呼びかけていただく組織作りも具体的に検討を進めております。

母校の方も、在校生保護者による後援会を全国的規模で組織化し、現在、具体的な話し合いが進められており、この組織がある程度形づくられれば、同窓会組織も並行して組織化して欲しいという願いがある旨を、うちうちの話で頂いております。同窓会の組織確立については、母校の先生方の協力なくてはむづかしいと思っておりますので、このたびの母校の動きにより、ひょっとして期待しつつ私たちも準備をして待っているところであります。どちらにしましても、これまでの同窓会の一つ一つの提言が一步一步進められ、今年度はこれまでの動きの中からより具体的な動きへと、色々な意味で変化の多い年になることが予想されます。皆さん方もそれぞれの職場にあって責任のある仕事に励まれていると思いますが、その仕事の情報源の一つとして、この同窓会組織が皆さん方の仕事の上に少しでもお役に立つような組織にしたいと願っております。皆さん方のご活躍を祈念致します。

第24回定期総会報告

第24回総会が去る4月16日、広島県民文化センターにおいて開催された。

総会は、まず永見憲吾会長（昭和42年電子卒）の挨拶で始まり、議長に黒瀬能幸氏（昭和42年電子卒）を選出し、昭和63年度活動報告、会計報告、同窓会奨学金会計報告、会計監査報告があり承認された。

次に平成元年度活動方針、会員及び奨学金に関する会則改正、予算案、役員改選の説明があり承認され、議事は滞りなく進められて閉会した。以下に総会の主な内容を述べる。



会則改正については、2項目あり1つは大学院設立に伴う会員資格の改正で、もう1つは奨学金制度の見直しについてで現在年額一人36,000円・対象人数10名を年額一人42,000円・対象人数15名に改正しようとするものである。以上の会則改正案2項目について審議され承認された。

役員改選では永見会長が再任され、今後の活力ある同窓会への努力の決意が述べられた。

また新幹事長には吉田和信氏（昭和55年機械卒）が選出され、組織の充実、財政問題の検討等の活動方針案が提案され了承された。

引き続き、鶴学長、母校の各学科の先生方および各部署の職員の方々等、多くの教職員参加の中で懇親会が開催され、学長ならびに教職員の方々より心あたたまるとお言葉を頂き和気あいあい、盛会のうちに終了した。



幹事長挨拶

機械55年卒

吉田和信

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。この一年間、微力ながら、同窓会活動に尽力致したく思っております。よろしく申し上げます。

今年度の活動方針を簡単にご報告し、挨拶とさせていただきます。

三つの大きな活動方針を挙げております。

一番目は、組織の充実であります。この活動は、昨年度、道田副会長によって新たにスタートしており、今年度は、特に、同窓会組織図および支部関係に重点を置きたいと思っております。組織図を持つことは一つの組織として当然であり、組織の運営規則を明確にするという意味があります。二番目は、財政問題の検討です。この活動は、

昨年度、法人化問題に関連して、橋田副会長によって、再出発しており、今年度は、特に、年間活動費の将来予測および財産管理、運用、利殖方法の検討を行う方針です。現在の年間活動（会報、会誌、名簿の管理・印刷等）を継続してゆけば近い将来、赤字運営となることは明らかであり、終身会費の値上げ時期、値上げ幅を早急に検討しなければならぬ状況になります。財産管理は、同窓会基金に関する問題です。より適正な利殖、運用方法を検討する時期となっています。三番目は、総会・懇親会の魅力付けです。会員数の増加とともに総会・懇親会への参加者が増えるという見方は、正しくないと思えます。会員数が増えるとともに分散してゆくというのが自然な傾向ではないでしょうか。この分散の傾向を緩和する手段の一つは、年度幹事制だと考えます。対象年度の卒業生が幹事となり、毎年対象年度を変えるという方法は、一般に多く採用されています。なつかしい顔に会えるという同窓会本来の魅力を増すことにもなるでしょう。

以上の方針に基づいて、地道ではありますが、継続活動を発展させてゆきたいと思えます。

昭和63年度会計報告

自 昭和63年4月1日
至 平成元年3月31日

<収支決算>

(単位：円)

項目	収 入	支 出	残 高
昭和63年度繰収入	16,014,887		
昭和63年度繰支出		12,614,869	
合 計	16,014,887	12,614,869	3,400,018

※ 2,000,000円は基金に繰入れる。

<積立基金の部>

昭和63年3月31日現在

項目	収 入	支 出	残 高
昭和62年度繰越金	80,880,000		
記念事業積立金	1,000,000		
預 金 利 息	2,008,720		
合 計	83,888,720		83,888,720

<収入の部>

自 昭和63年4月1日
至 平成元年3月31日

項目	決 算 額
昭和62年度繰越金	126,288
入 学 金 2,000円×1,016人	2,032,000
終身会費 15,000円× 842人	12,630,000
総会費 3,000円× 87人	261,000
広 告 料	400,000
雑収入(寄付金等)	465,360
預 金 利 息	100,239
合 計	16,014,887

<支出の部>

(単位：円)

項目	予 算	決 算	差 異
会誌発行費	1,230,000	1,290,300	△60,300
会報発行費	210,000	260,000	△50,000
名簿発行費	1,700,000	1,729,000	△29,000
総会開催費	680,000	699,998	△19,998
懇親会費	650,000	678,518	△28,518
諸 費	30,000	21,480	8,520
支 部 費	400,000	200,500	199,500
在学生援助費	1,300,000	1,245,000	55,000
大 学 祭 援 助 費	400,000	400,000	0
体 育 祭 援 助 費	300,000	300,000	0
クラブ援助費	600,000	545,000	55,000
卒業記念品費	500,000	444,030	55,970
通 信 費	2,650,000	2,312,120	337,880
消 耗 品 費	950,000	717,690	232,310
交 通 費	420,000	155,690	264,310
会 議 費	430,000	246,756	183,244
役員手当	120,000	89,000	31,000
会 計	15,000	15,000	0
会報発行責任者	2,000	2,000	0
会誌発行責任者	5,000	5,000	0
名簿発行責任者	5,000	5,000	0
支部担当責任者	5,000	5,000	0
その他(日当)	88,000	57,000	31,000
備 品 費	100,000	38,200	61,800
委 託 費	1,920,000	1,660,585	259,415
奨学基金繰込金	310,000	310,000	0
勸奨学会寄付金	100,000	100,000	0
記念事業積立金	1,000,000	1,000,000	0
予 備 費	1,056,288	116,000	940,288
合 計	15,076,288	12,614,869	2,461,419

昭和63年度同窓会奨学会計報告

(単位：円)

項目	取 入	支 出	残 高
基 金	7,873,541		
繰 込 金	310,000		
利 息	552,373		
奨 学 金		360,000	
寄 付 金	399,200		
合 計	9,135,114	360,000	8,775,114

以上の会計報告の正確なることを承認します。

平成元年4月4日

監査 金堀 一部

監査 寺地 越二

平成元年度予算

<収入の部>

(単位：円)

項 目	予 算 額	備 考
昭和63年度繰越金	3,400,018	
入 会 金	2,856,000	3,000円×952人
終 身 会 費	10,800,000	15,000円×720人
総 会 会 費	400,000	4,000円×100人
預 金 利 息	100,000	
広 告 料	500,000	
雑収入(寄付金等)	400,000	
合 計	18,456,018	

<支出の部>

(単位：円)

項 目	予 算 額	備 考
会 誌 発 行 費	1,470,000	83円×17,610人
会 報 発 行 費	360,000	19円×18,500人
名 簿 発 行 費	1,870,000	
総 会 開 催 費	810,000	
懇 親 会 費	780,000	
諸 費	30,000	
支 部 費	400,000	
在 学 生 援 助 費	1,300,000	
大 学 祭 援 助 費	400,000	
体 育 祭 援 助 費	300,000	
ク ラ ブ 援 助 費	600,000	
卒 業 記 念 品 費	500,000	写真代580円×720人
通 信 費	2,890,000	
消 耗 品 費	1,080,000	什器備品費を含む
交 通 費	520,000	
会 議 費	530,000	
役 員 手 当	160,000	
会 計	15,000	
会 報 発 行 責 任 者	2,000	
会 誌 発 行 責 任 者	5,000	
名 簿 発 行 責 任 者	5,000	
支 部 担 当 責 任 者	5,000	
そ の 他 (日 当)	128,000	
委 託 費	1,920,000	
奨 学 基 金 繰 込 金	455,000	
勸 奨 学 会 寄 付 金	100,000	
記 念 事 業 積 立 金	1,000,000	
基 金 繰 込 金	2,000,000	
予 備 費	1,091,018	
合 計	18,456,018	

平成元年度 同窓会役員

	氏名	卒業年	卒業学科		氏名	卒業年	卒業学科
会長	永見 憲吾	42	電子	幹事	福永 保	51	経営
副会長	道田 憲治	45	経営	"	高瀬 明	49	機械
"	橋田 好弘	44	機械	評議員	上岡 洋史	42	電子
幹事長	吉田 和信	55	"	"	山口 和夫	47	"
副幹事長	寺地 越二	41	電子	"	森本 房義	41	電気
"	西野 達夫	49	経営	"	可知 英樹	41	"
会計	小西 正明	43	機械	"	松原 昌弘	51	"
"	湯尻 照	39	電気	"	大藤 英寿	43	機械
"	中田 時生	46	"	"	猪原 憲昭	44	"
会計監査	金堀 一郎	45	建築	"	木村 一彦	44	"
"	玉野 和保	44	電子	"	坂本 幸雄	45	"
書記	水落 健治	61	機械	"	砂原 照雄	46	"
"	松岡 泰弘	63	"	"	藤川 正博	47	"
幹事	村田 弘志	41	電子	"	新居 敏春	51	"
"	川畑 敬志	42	"	"	松村 拓典	51	"
"	重広 孝則	46	"	"	三浦 勝行	46	土木
"	猪上 憲治	42	電気	"	森 聖輝	46	"
"	原田 義治	42	"	"	荒谷 寿一	47	"
"	沖根 光夫	44	電子	"	青木 能典	44	建築
"	片山 剛之丞	42	"	"	中塚 晴夫	44	"
"	松江 孝博	43	機械	"	森田 洋生	47	"
"	小池 利明	52	"	"	中島 伸夫	49	"
"	山下 一彦	55	"	"	上之 博文	50	"
"	桜井 元康	63	"	"	森京 正	53	"
"	伊藤 秀敏	45	土木	"	植村 邦彦	56	"
"	菅 雄三	50	"	"	峠 孝司	45	経営
"	村中 昭典	59	"	"	吉清 有三	46	"
"	菅原 辰幸	44	建築	"	大田 喜徳	50	"
"	手越 義昭	49	"	"	岡本 世紀	53	"
"	大林 真	55	土木	<p style="text-align: center;">計 報</p> <p style="text-align: center;">ご逝去の旨、連絡をいただいた会員の方々です。 慎んでご冥福をお祈りいたします。</p> <p style="text-align: center;">(敬称略・数字は逝去年月日)</p>			
"	西田 弘展	45	経営				
"	松広 斎	48	"				
"	中西 助次	43	機械				
"	森滝 美治郎	43	"				
"	古川 博仁	54	"				
"	砂田 謙二	39	電子				
"	近宗 貴	45	経営				
"	広重 隆	45	"				
				571110	榎村 敏彦	S.63. 10	
				464069	田中 俊佐	S.63. 12. 26	
				436127	三笠 喜則	H.1. 1. 23	
				462057	筒井 宜雄	H.1. 2. 6	

大学は今…



◎広島工業大学大学院の開設について

我が鶴学園が3年前に創立30周年を迎えました事は皆さまもご承知のことと思います。

その節目にあたり、鶴学長は急速に進歩する科学技術の革新に対処できる大学として、また、本学園の集大成をめざすものとして、大学院の設立を立案いたしました。そして、平成元年の今年、広島工業大学大学院工学研究科修士課程が、4月1日から開設されました。

本大学院は、電子工学専攻、機械システム工学専攻、土木工学専攻の3専攻が開設されています。各専攻とも入学定員は10名で、総定員は60名となっています。

開設の認可を受けた時期が、平成元年3月17日付であったにもかかわらず、工学研究科目には、平成元年度3専攻を合わせて13名の学生が入学し、現在、在籍しています。

工学研究科では、科学技術の発展に寄与するためには、

◎新たな企画による 広島工業大学教育懇談会

大学では長年続いた就職懇談会を発展的に解消し、新たに後援会の行事と統合して全学年の父母を対象にした「広島工業大学教育懇談会」を平成元年度の今年、初めて実施いたしました。

先ず4年生父母を対象に、5月14日に行われた懇談会は例年の就職懇談会をひきついで、各学科ゼミの教員と父母が就職・進路について懇談しました。

またこの日來学されなかった4年生の父母も含め、1年次から3年次の父母を招いた懇談会が5月20日広島(本学)、5月27日岡山(岡山東急ホテル)、福山(福山ニューキャッスルホテル)、松山(松山全日空ホテル)、5月29日福岡(博多全日空ホテル)、6月3日山口(ホテルサンルート山口)、6月22日松江(松江東急ホテル)の各会場で開催されました。日頃見ることのないご子女の大学内で学生生活を、学業成績や単位の修得状況・進路・就職・課外活動などの実質的資料をもとに学生生活

高度の基礎学力と研究、開発能力が不可欠であるという観点から、学部教育で修得した学問を基礎に、専門分野をより深く研鑽でき、研究指導によって柔軟な研究能力を培えるような教育研究体制が整えられています。

この教育研究を通して、基礎学力に裏付けされた、高度の専門知識および問題を科学的に考究し、独創する能力を高め、さらには、広い視野をもち、国際性豊かな高度な専門技術者・研究者の育成を目指したカリキュラムが実施されています。

3専攻の教育研究分野の特色としましては、電子工学専攻は、「電子回路工学」、「電子物性工学」、「電子計測工学」および「システム制御工学」を柱とし、機械システム工学専攻では、「材料工学」、「生産システム工学」、「エネルギーシステム工学」および「計測システム工学」を柱とし、土木工学専攻では、「構造工学」、「土質、材料工学」、「水理工学」および「環境・計画学」を柱とした、それぞれ4つの教育研究分野を柱とした内容となっています。

また、平成2年度の大学院推薦入学試験につきましては、平成元年6月18日(日)に実施され、4名の者が合格しています。

なお、大学院の一般入学試験につきましては、平成元年9月17日(日)に実施されます。

以上順風満帆の船出となった大学院ですが、今後尚一層の充実をめざして学長をはじめ教職員は知識の導入に余念のない日々です。

同窓生の皆様の大学院への巾帛いご協力をお願いしたいと思います。

全般にわたって、担当教員が質問や相談に応じました。

本学で行われた5月20日の懇談会では、後援会の総会も同時に先行し、終了後大会会館で懇談会も行われました。各学科は勿論のこと、一般教育や基礎教育の先生方も多数参加されて、お集まりのたくさんの方々と懇談しました。

各地方会場でビデオで大学の近況を見ていただき、出席した教職員は遠隔地に子女を生活させている多数の父母の熱心な質問に、少しでも大学の実態をご理解いただきたいと持参した資料を詳細に説明していました。地方会場でのご感想では各会場ともご父母の連携が出来て各地域に「広島工業大学」が強く根付くことも予想され、大学としては大きな収穫だったと思っております。

毎年必ず、開催してほしいとの父母の意向が強く、新教育懇談会が大変好評だったので、大学としては来年度はもっと準備を周到にして、規模を拡充し、将来的には同窓会のみならずのご協力もおおげ、大学・後援会・同窓会を一体化したビッグイベントに育てあげたいと思っております。同窓生のみならずの多大なご支援を心からお待ちしております。

〈文化局だより〉

同窓生の皆様、私は第27期文化局長の増井という者です。

今期も例年通り文化局主催の芸術展(第21回)を行いました。会場には多数の方にお越し頂き無事終わることができました。これも皆様の温い御支援によるものと関係者一同深く感謝しております。もう一つのビックイベントである定期演奏会ですが、これはただ今準備中であります。この同窓会誌が皆様のお手元に届くころには定期演奏会も無事終わっていることと思います。今後も文化局の主催行事をお引き立て願います。

さて、文化系サークルの活動についてですが、残念ながら今期も同好会及び鉄道研究部の2サークルが今期におきまして休部となってしまいました。しかし部員が集まればまた復活の可能性はあるので今後に期待したいと思います。他の文化系サークルは昨年以上に活発な活動を展開しておりますので特に文化系サークルOBの方、ご安心下さいませ。

文化局本部も昨年度にはコピー機、ワープロ等を購入し活動がさらに充実してまいりました。それらの設備等を生かし文化局も今まで以上に文化系サークルの発展の為、努力してまいりたいと思いますので、文化系サークル共々よろしく願い申し上げます。

尚、サークルOBの方もたまにはサークルボックスをのぞいてみてあげて下さい。サークル員もきっと喜ぶと思います



〈体育会だより〉



現在、第14期体育会は基本方針にのっとり日々様々な活動を行っております。

現在までに行われた行事を紹介させていただきます。

- ・第14回三宅駅伝大会 12月18日
- ・第21回大山スキーパーティー 2月28日～3月5日
- ・リーダーズセミナー 4月2日～4月3日
- ・第28回体育祭 5月19日～5月22日

以上の中で、体育祭について紹介させていただきます。今年の体育祭「Potential」というテーマのもとで開催されました。このテーマには、人間の潜在能力という意味があります。今年は去年の熊の絵に引き続き、守衛所前から新1号館までの坂に高さ1mののぼりを、100本たてました。これによって、体育祭も、年々華やかになりつつありますが、初日、雨にたたられたせいもあり、参加者の伸びが、今一步で、これは、また来年の課題となりそうです。

以下にこれからの予定を紹介させていただきます。

- ・第14回前期ソフトボール大会 6月17・18・24・25日
- ・第10回武道班合同演武祭 未定
- ・第11回少年少女球技大会 未定
- ・第10回少年少女剣道大会 未定
- ・第14回後期ソフトボール大会 未定
- ・スポーツ講演会 未定

今年もより一層の飛躍を望み、努力を重ねて行く所存ですので、諸先輩方より一層の御協力と、御指導御鞭撻の程、宜しく御願い申し上げます。

平成2年度の募集要項ができました。

お問い合わせは下記へ

〒731-51 広島市佐伯区三宅2丁目1番1号

TEL (0829) 21-3121

広島工業大学 入試係 なお大学院は教務課へお問い合わせ下さい。

体育会サークル名簿

	氏名	T E L		氏名	T E L
柔道	奥田 隆文	(0829)24-5790	バスケット	樽谷 亮	(082)221-6193 (082)229-3633
剣道	浜 一水	(082)894-8394	硬式野球	伊達 豊志	(0829)21-2041 (併)
弓道	渡辺 健明	(0829)23-2669 (併)	軟式野球	岡 洋一郎	(0829)21-2373 内線(301)
合気道	東 規史	(082)877-3923	卓球	鷹森 聡	(0829)23-0010 (併)
小林寺	横井 聖一	(0829)23-2615 内線(506)	ハンドボール	和田 一人	(0829)23-4919
空手道	高畑 勝義	(0829)22-4470	硬式庭球	井上 祐司	(082)254-6655
ボクシング	三宅 政博	(0823)33-1224	軟式庭球	東田 博明	(0829)22-3867
正道衛(同)	岩藤 堅司	(0829)28-4913	サッカー	沖中 泰樹	(082)291-0432
ヨット	木家 秀一	(0824)34-2079	バレーボール	原田 信吾	(0829)23-4919 (併)
スキー	長峰 考志	(0829)22-1204 内線(1207)	ラグビー	本名 史賢	(0829)23-4872
自動車	近松 琢二	(0829)21-0231 (平野方)	バドミントン	大野 武徳	(0829)22-2179
ウェイトL	岡田 紀道	(0829)24-5212	エスキーT.(同)	小原 隆	(0829)21-2041 (併)
アーチェリー	大久保 隆幸	(082)838-1083	ゴルフ(同)	角野 公彦	(0829)22-7109
水泳	能島 卓次	(082)277-9071	ソフトボール(愛)	竹内 和志	(0829)55-0981
陸上	藤崎 重則	(082)854-2979	ユースH.	小坂 太郎	(082)274-2224
漕艇	牛尾 政幸	(082)241-3530	山岳	島田 雅仁	(0829)21-2709
スケート	宮本 博文	(0829)24-3014	サイクリング	岡下 隆	(0829)23-2669 (併)
馬術(同)			ワングル	渡辺 研二	(0829)31-3664
射撃(愛)	小島 誠	(0829)23-3496 (併)	ピラスカー(愛)	末田 善友	(0829)23-4424
モーターC.(愛)	木村 茂生	(0829)23-6441	機械体操(愛)		

経営工学科

創設25周年記念行事について

来年(1990年)の4月には、25回目の経営工学科の入学を迎える事となります。この四半世紀を記念いたしまして、経工会(OB部会・学生会)におきましては、記念行事開催が会員の有志より提案されております。夏期にゼミ単位の会を開催しておられる先生も多く、今回はまとまってやったら、という意見もあり、まだ原案の段階ではありますが皆様にお知らせすることになりました。ぜひ皆様のご協力の下に、成功させたいと考えております。

現在、1990年8月中旬を記念行事開催の予定としております。内容・時期等につきましても会員の皆様のご意見を賜り、今後進めて行く予定であります。適当な時期に、発起人会・準備委員会等を発足させ、正規に会員の皆様のご協力をいただく所存です。その折には、是非、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、当企画の内容につきまして、アイデア等をお知らせ下さい。準備委員会での参考意見として検討させていただきます。

いただきたいと思います。

まずは、経営工学科創設25周年記念行事(仮称)のお知らせいたしますと共に、参加を含めたご協力の程、重ねてお願い申しあげる次第です。

(経工会OB部会会長 近宗 貴)

<本部日より>

同窓会奨学金資金の募金にご協力ください

同窓会設立十周年を記念して発足した奨学金制度は、「奨学金給与規程」改正が第24回総会に上程され、懸案があった支給金額の増額及び対象人員の増員の承認がなされました。(2頁の「第24回定期総会報告」参照)

これまでも会員の皆様には、奨学金資金の募金に対して多大なお力添えをいただいております。厚くお礼申し上げます。今後とも、なお一層のご協力をお願いいたします。

奨学金募金要項

- 金額 一口 1,000円
- 送金方法 同封の振込通知票に必要事項をご記入の上、最寄りの郵便局よりご送金ください。

平成元年版同窓会会員名簿頒布予約について

- 頒布価格 1冊 3,000円(送料込み) ○発行予定 平成2年3月末
○申込方法 会員番号(学生番号)・氏名・送付先を明記し同窓会事務局へお申込ください。

支払いの方法については、後日連絡いたします。(※同窓会会員以外には頒布いたしません。)

〒731-51 広島市佐伯区三宅2丁目1-1 広島工業大学同窓会事務局